

モンスタースクールin なごのキャンパス



「WAPM-AX8R」で汎用性の高い通信環境を構築
ローカル5G利用のイベント運営をサポート

目的・課題

商品・サービス
品質向上

業種

イベント

導入商品

Wi-Fi
(無線LAN)

東海地区初となるローカル5G実証施設を活用したeスポーツイベントに、
バッファローが会場の快適なWi-Fiネットワーク環境を提供



導入先プロフィール (2023年3月現在)

会場 U R L	なごのキャンパス https://nagono-campus.jp/
共催社 (運営事務局) U R L	株式会社コミュニティネットワークセンター https://www.cnci.co.jp/
共催社 (ローカル5G提供) U R L	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社 https://www.starcat.co.jp/

2023年3月、名古屋市の「なごのキャンパス」にて、eスポーツのプロ選手から人気タイトルの攻略法が学べる「モンスタースクールinなごのキャンパス」が開催されました。株式会社コミュニティネットワークセンター(以下、CNCI)が運営事務局を務め、スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社(以下、スターキャット)のローカル5G実証施設を利用したこのイベントでは、バッファローの法人向け無線LANアクセスポイント「WAPM-AX8R」とマルチギガ対応有線LAN機器によりローカル5Gのポテンシャルを活かしたWi-Fi環境を構築。参加者持ち込みによる端末が不均一な環境での安定した多台数同時通信を提供しました。

課題

参加者が同時に通信しても
遅延しないWi-Fiを用意したい

- 参加者の端末持ち込み ▶ 多様な環境・規格へ対応が必要
- 大人数同時にWi-Fi利用 ▶ 多台数の安定同時通信が必要
- スタッフもWi-Fiを利用 ▶ 参加者用Wi-Fiの負荷増加を懸念

対策

Wi-Fi 6(11ax)まで対応できる「WAPM-AX8R」と
マルチギガ対応機器で多台数同時通信に強いWi-Fiを構築

効果

法人向けネットワーク機器で
同時通信の課題を解決

- 公平通信制御機能 ▶ 複数同時でも遅延ない通信を提供
- 10GbE・2.5GbEの利用 ▶ モデム～Wi-Fi間の処理量向上
- チャンネル固定・分散 ▶ 参加者用Wi-Fiにかかる負荷を軽減

選定の ポイント

2.5GbE対応・公平通信制御機能搭載の「WAPM-AX8R」は
多台数同時通信を必要とするイベントのWi-Fiに適している

お客様インタビュー

株式会社バッファロー
法人ビジネス本部
営業技術部 営業技術課
西日本フィールドエンジニア係

株式会社コミュニティ
ネットワークセンター
営業本部
副本部長

スターキャット・
ケーブルネットワーク株式会社
営業本部 法人営業部
法人営業2グループ 担当課長

白木 雅枝 係長(左) 澤崎 栄治氏(中央) 宮内 元氏(右)



ローカル5G回線をバックボーンに、さまざまな規格・仕様の持ち込み端末が 遅延なく多台数同時に通信できるWi-Fi環境を構築し、イベント運営を支援

概要

- ・3社共催でイベントを開催
- ・ローカル5Gを活用した環境を整備

ローカル5Gを活用したイベントを共催

スターキャットが敷設したローカル5G実証設備とeスポーツを融合し、さまざまなノウハウを蓄積する目的で開催された「モンスターinなごのキャンパス」。CNCIの声がけで、バッファローも共催として参加しました。

持ち込み端末の多台数同時通信を実現

プロ選手から学べるスクール形式のイベントに向け、参加者持参の端末を接続でき、かつ多台数同時通信でも快適にプレイできるWi-Fi環境を法人向け無線LANアクセスポイント「WAPM-AX8R」で構築。ローカル5Gのポテンシャルを活かす、高速スループットを実現しました。

目標・課題

- ・多台数同時接続イベントの成功
- ・多様な端末の接続と安定通信

多様な端末に対応できる通信環境を準備したい

イベントの開催にあたり「参加者自身が、普段ゲームをプレイしている端末を会場に持ち込んでもらう必要がありました」とCNCI 営業本部 副本部長 澤崎 栄治氏(以下、澤崎氏)。「さまざまなプラットフォーム、Wi-Fi規格の端末が安定して通信できるWi-Fi環境の構築が必要でした」と話します。

持参端末のWi-Fi規格対応と通信の安定が必要

本イベントにローカル5G回線を提供するスターキャットの宮内 元氏は「イベントでは、会場付近に敷設されたローカル5Gアンテナから、Sub6波を会場内のローカル5Gモデムで受信。参加者が接続するWi-Fiでも、ポテンシャルをそのまま、利用できるようにする必要がありました。」と話します。

解決策

- ・「WAPM-AX8R」でWi-Fi環境を構築
- ・マルチSSIDでスタッフ用Wi-Fi提供

遅延なくゲームをプレイできる環境を構築

バッファローは、会場となった「なごのキャンパス」体育館2階の通路に、Wi-Fi 6(11ax)までの規格に対応でき、「公平通信制御機能」により多台数同時通信が可能な「WAPM-AX8R」を4台、マルチギガ対応で「WAPM-AX8R」と2.5GbE接続可能なPoEスマートスイッチ「BS-MS2008P」、ルーターにはローカル5Gモデムと10GbE接続可能な「VR-U500X」でWi-Fi環境を構築。施工を担当したバッファローの白木係長は「スループットを最大化し、チャンネル設計の工夫で多台数同時通信に対応できる構成としました。」と話します。

参加者、運営、出展者それぞれにSSIDを用意

「スタッフ用Wi-Fiも用意いただき円滑なイベント運営が可能になった」と澤崎氏。「WAPM-AX8R」はマルチSSID対応で、参加者用だけでなく、運営用、出展者用にもSSIDを設定できます。

効果

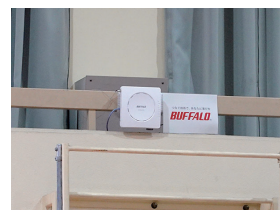
- ・状況に応じた柔軟なイベント運営
- ・今後のeスポーツイベントにも応用

実践プレイにも耐えられる高速通信を提供

開催直前の速度調査では「下り平均330Mbpsの通信を確認できました」と澤崎氏。イベントではプロ選手が参加者と車座となり、プレイを検証するシーンもありましたが、複数の参加者が同時にプレイしても、十分な通信速度が提供されていました。

今後のeスポーツイベントでもローカル5Gを検証

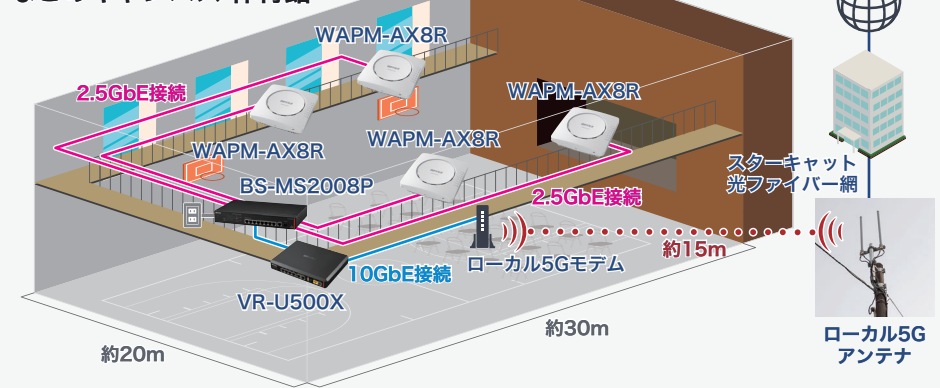
「ユーザー参加型のイベントでは、どれだけの人が、どんな端末をどのくらいいつながかわからない。柔軟に対応できるバッファロー提供のWi-Fi環境が心強かった。今後もeスポーツを通じて、ローカル5Gの実証を続けていきたい。」と澤崎氏は話していました。



体育館2階の手すりに「WAPM-AX8R」を固定し、館内を広くカバー

イメージ図

なごのキャンパス 体育館



ローカル5G受信機から法人向けルーター「VR-U500X」、マルチギガ対応PoEスイッチ「BS-MS2008P」、さらに4台の「WAPM-AX8R」へ接続。チャンネル有効活用のため4台それぞれのチャンネルを固定。「WAPM-AX8R」は「BS-MS2008P」からのPoE給電とすることで、配線をシンプルにしている。

採用商品



5年保証※
10G/5G/2.5GbE対応
VPNルーター

VR-U500X



5年保証※
11ax/ac/n/a & 11ax/n/g/b
Wi-Fi 6(11ax)対応
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-AX8R



5年保証※
10G/5G/2.5GbE対応
PoEスマートスイッチ
IEEE 802.3at対応
8ポートタイプ

BS-MS2008P

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長